

日野町



ヒートポンプ 給湯
温水器

贈呈理由 > ヒートポンプと蓄熱システムを有効活用等の運転改善により、大幅な省エネを実現



建屋外観



熱源機

日野町は鳥取県西南部に位置し（東西20km南北12.5km、総面積133.98km²）、その境界を岡山県に接しており、日野町根雨を通る出雲街道は、かつては松江藩の殿さまが参勤交代をする重要なルートで本陣の門など根雨の町並みは宿場町の風情を今に残している。

また、「オシドリの住むまち」として、秋から春先にかけて日野川にオシドリが飛来しピーク時約1,000羽の姿を観察小屋から間近に見ることができるとともに、全国で1カ所しかない縁起の良い名前の金持神社には、金運・開運を求めて多くの参拝客がある。

「日野町立学校給食センター」は、開所当時には650食の給食を提供していたが、児童・生徒減少により平成28年には220食に減少し、能力過大な食器洗浄機の稼働による水道・光熱費負担や設置後15年経過した給湯設備の補修部品調達が課題であった。

今回「安全・安心な学校給食」を目指し、食数規模に見合った食器洗浄機への改修、省エネルギー・省ランニングコスト実現が容易な業務用エコキュートへ改修することとなった。

業務用エコキュートでつくられるお湯は3.5t貯湯槽に貯湯され、主に食器洗浄機で使用される。貯湯槽のバックアップとして電気温水器200ℓも設置している。平成28年9月から稼働し、夏季「追い炊き運転停止」・冬季「追い炊き運転制御」を行っているが、湯切れの発生も初期故障もなく順調に運転を継続している。エコキュート導入による一次エネルギー消費量の大幅削減のみならず、適正規模の食器洗浄機への更新による水道使用量削減といった副次的な効果も得られた。

今後も安全・安心でおいしい給食を提供するとともに、さらなる省エネルギー・省コストを目指していく。



貯湯槽

一次エネルギー消費量削減効果

【採用システム】

給湯：業務用エコキュート、電気温水器

【従来システム】

給湯：灯油ボイラ

削減率
-26%

[諸元] エネルギー使用実績比較
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」
(平成28年3月1日改正)

日野町立学校給食センター

所在地：鳥取県日野郡日野町野田269-1

蓄熱設備設計：三和商事(株)

蓄熱設備施工：三和商事(株)

竣工：2016年（更新）

■蓄熱設備概要

業務用エコキュート

能力：30kW×1台 [三菱重工業]

貯湯槽：3.5m³

電気温水器

能力：200ℓ×1台 [三菱電機]

システム図

